

パソコン決裁6 サービスリリース3：リリースノート

シヤチハタ株式会社 事業開発本部 BS 開発部

内容

1	はじめに	3
2	お客様へのご提供方法	3
	新しい機能が追加されたサービスリリース 3	3
	不具合のみが修正された更新プログラム	3
3	Microsoft Windows 7 にインストールする際の注意事項	4
4	サービスリリース 3 で新しく追加された機能	5
	Microsoft Word 2010 に対応したオートプロテクトワード捺印ツールおよび Microsoft Excel 2010 に対応したオートプロテクトエクセル捺印ツール	5
5	サービスリリース 3 および更新プログラムから改良または修正された箇所	6
	5.1 管理ツール	6
	ユーザのプロパティで役職 ID の設定が無効になる現象	6
	グループとユーザのインポート操作で XML ファイルに属性情報がない場合に、ユーザのプロパティ情報が既定値に変更されてしまう現象	7
	5.2 オートプロテクトワード捺印ツール	8
	印鑑データの過去の日付に設定してインプレット捺印操作をしても印影に編集した日付が反映されない現象	8
	Windows 認証で多重ログインしようとしたときのエラーメッセージ	9
	オートプロテクトツールで捺印したときの捺印履歴に、文書ファイル名が記録されない現象	9
	パソコン決裁 6 サービスリリース 3 オートプロテクトワード捺印ツールの、Word のバージョンによる動作の違いについて	10
	捺印ツールのログイン画面で表示される捺印用印鑑データファイルの場所に含まれる””マークが増えていく現象	11
	5.3 オートプロテクトエクセル捺印ツール	12
	印鑑データの過去の日付に設定してインプレット捺印操作をしても印影に編集した日付が反映されない現象	12
	Windows 認証で多重ログインしようとしたときのエラーメッセージ	13
	オートプロテクトツールで捺印したときの捺印履歴に、文書ファイル名が記録されない現象	13
	Excel で「R1C1」参照形式のときに部分保護できない現象	14
	捺印ツールのログイン画面で表示される捺印用印鑑データファイルの場所に含まれる””マークが増えていく現象	15
	5.4 Acrobat 用 捺印ツール	16
	Acrobat 用捺印ツールの捺印プロパティ [文書ファイル名] に捺印時の文書ファイル名ではなく開いている文書ファイル名が表示される現象について	16
	印鑑データの過去の日付に設定してインプレット捺印するとエラーメッセージが表示される現象	17
	インプレット捺印すると捺印位置がずれる現象	17
	[確定操作を行うまで印影を移動させるようにする] オプションを利用せず署名捺印すると捺印位置がずれる現象	18

1 はじめに

パソコン決裁6 サービスリリース3（以下、サービスリリース3）はパソコン決裁6がリリースされた後にユーザからのフィードバックにより修正された不具合や新しい機能が追加された更新プログラムになります。

2 お客様へのご提供方法

新しい機能が追加されたサービスリリース3

2010年08月06日から出荷されるパッケージ内については、サービスリリース3として出荷されます。また、既存のユーザ様にも有償サポート契約を行っていただいているお客様については弊社カスタマーサイトから無償でダウンロードしていただくことができます。捺印ツールまたは管理ツールのバージョン情報が6.3以降はMicrosoft Windows7、Microsoft Excel 2010 および Microsoft Word 2010 への動作サポートをいたします。

提供されるプログラムとバージョン情報

名称	ファイル名	バージョン情報または更新日時
共通モジュール	DstmpCom.dll	6.3.0.66
捺印ツール	Dstmp32.exe	6.3.0.65
管理ツール	DstmpExplorer.exe	6.3.0.66
オートプロテクトワード捺印ツール	Satpr6w.dot	6.02.01
	Satpr6w.dotm	6.03.07
オートプロテクトエクセル捺印ツール	Satpr6e.xla	6.02.02
	Satpr6e.xlam	6.02.02
Acrobat 用 捺印ツール	DstmpDs.api	3.0.0.26
Docuworks 用捺印ツール	XDStamper.dll	6.0.0.25

不具合のみが修正された更新プログラム

既存のユーザ様で有償テクニカルサポート契約をされていないお客様には不具合のみが修正されたプログラムをサポートサイトから無償でダウンロードしていただくことができます。サービスリリース3から追加された新しい機能はございませんが、既知の不具合などが修正されています。こちらのバージョンはMicrosoft Windows7、Microsoft Excel 2010 および Microsoft Word 2010 への動作サポートをいたしません。

提供されるプログラムとバージョン情報

名称	ファイル名	バージョン情報または更新日時
共通モジュール	DstmpCom.dll	6.2.0.66
捺印ツール	Dstmp32.exe	6.2.0.65
管理ツール	DstmpExplorer.exe	6.2.0.66
オートプロテクトワード捺印ツール	Satpr6w.dot	6.02.01
	Satpr6w.dotm	6.03.07
オートプロテクトエクセル捺印ツール	Satpr6e.xla	6.02.02
	Satpr6e.xlam	6.02.02
Acrobat 用 捺印ツール	DstmpDs.api	3.0.0.26
Docuworks 用捺印ツール	XDStamper.dll	6.0.0.25

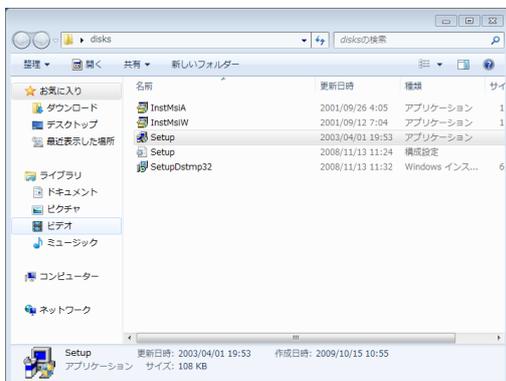
3 Microsoft Windows 7 にインストールする際の注意事項

パソコン決裁6 捺印ツール Standard Edition を Microsoft Windows 7 にインストールする場合には、インストール時の Program Files フォルダへのファイルコピー操作のセキュリティが強化され、Microsoft Office 製品および Adobe Acrobat 製品に依存する弊社アドインまたはプラグイン関連のファイルコピーが失敗し、正常なインストールができない可能性があります。Microsoft Windows 7 にセットアップされる場合には、次の手順で行ってください。

Microsoft Windows 7 でセットアップを行う手順

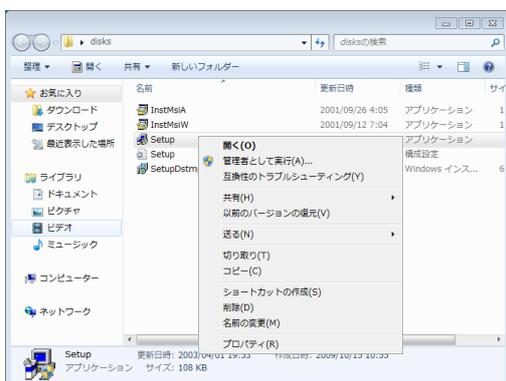
1. インストールプログラムを含むフォルダ内の Setup.exe を確認します。

製品に同梱されているインストール CD の場合には、[stmptool\%disks] フォルダになります。ダウンロードされた圧縮ファイルの場合には、一旦、任意のフォルダに展開してから作業を行ってください。



拡張子を表示しない設定の場合には [Setup] としか表示されません。種類が [アプリケーション] となっていることなどで判別してください。

2. [Setup.exe] をマウスの右ボタンでクリックして表示されたポップアップメニューから [管理者として実行] メニューを選択します。



3. 表示された [ユーザー アカウント制御] 画面で [はい] を選択してインストールを開始します。

4. ウィザードに沿って、インストール作業を続行します。

[SetupDstmp32.msi] を実行してインストールを行わないでください。インストールは完了しますが、一部のファイルコピーが失敗する可能性があります。

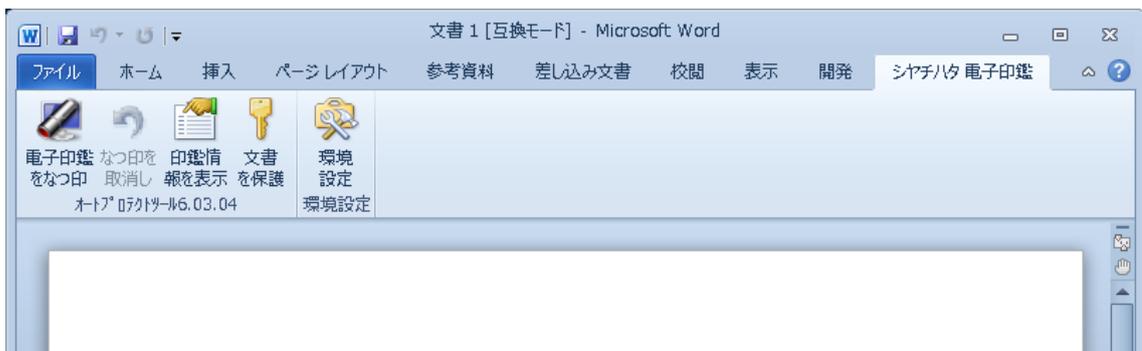
4 サービスリリース 3 で新しく追加された機能

Microsoft Word 2010 に対応したオートプロテクトワード捺印ツールおよび Microsoft Excel 2010 に対応したオートプロテクトエクセル捺印ツール

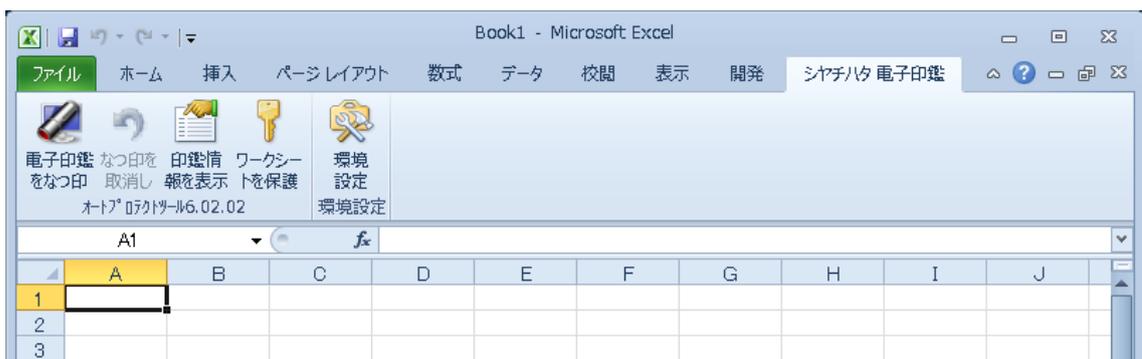
サービスリリース 3 では、新たに Microsoft Word 2010 および Microsoft Excel 2010 に対応しました。

Microsoft Word 2010 または Microsoft Excel 2010 がインストールされているコンピュータでは、「パソコン決裁 6 サービスリリース 3」をインストールするとリボンに「シヤチハタ 電子印鑑」タブが追加され、「オートプロテクトワード捺印ツール」を利用できるようになります。

- Microsoft Word 2010 の場合



- Microsoft Excel 2010 の場合



5 サービスリリース 3 および更新プログラムから改良または修正された箇所

※最新の情報をご確認する場合には弊社ホームページをご覧ください。

5.1 管理ツール

サポート番号 : SB1002251

ユーザのプロパティで役職 ID の設定が無効になる現象

要約

パソコン決裁 6 管理ツール Advanced Edition で Active Directory とのユーザ共有を行っている捺印用印鑑データファイルを開いた場合に、ユーザのプロパティ画面で役職 ID の設定が無効になる現象について修正しました。

内容

Active Directory とユーザを共有（管理ツールで、Windows のドメインやドメインコントローラを指定して、Windows のアカウントとパソコン決裁のユーザの同期）を行っている捺印用印鑑データファイルを一覧に追加し、ユーザのプロパティ画面を表示した場合に、役職 ID の設定が無効となり編集できません。役職 ID 以外の項目（ユーザの姓や名などのプロパティ）は、Active Directory と同期される項目であるため、編集できないような仕様です。

回避方法

この現象は、管理ツール Standard Edition では発生しません。この現象はパソコン決裁 6 サービスリリース 3 または更新プログラムでは修正されています。

サポート番号 : SB1002274

グループとユーザのインポート操作で XML ファイルに属性情報がない場合に、ユーザのプロパティ情報が既定値に変更されてしまう現象

要約

パソコン決裁 6 管理ツールのグループとユーザのインポート操作を行った場合に、XML ファイル内に対応した属性情報が定義されていない場合に、インポート時にユーザのプロパティ情報が既定値に変更されてしまう現象について修正されています。

現象

管理ツールでグループとユーザのエクスポート操作などで XML 形式で出力されたファイルを編集し、firstname、lastname などの属性情報を削除（XML ファイル内で未定義の状態）したファイルを対象としてインポート操作を行った場合に、インポート時に対象となったユーザのプロパティ情報が新規作成時の既定値に変更されます。

再現方法

1. 管理ツールを起動し、捺印用印鑑データファイルを一覧に追加します。
2. [ツール | グループとユーザ構成 | エクスポート] メニューを選択します。
3. 表示されたウィザードを利用して、ユーザとグループの構成情報を XML で出力します。
4. 出力された XML ファイルをメモ帳などで開き、ユーザ (user) タグ内の属性情報 (例 firstname=" など) を削除します。
5. 編集した XML ファイルを保存します。
6. [ツール | グループとユーザ構成 | インポート] メニューを選択します。
7. 表示されたウィザードを利用して、編集した XML を読み込みます。
8. インポート完了後に、XML で編集を行ったユーザのプロパティを表示します。

回避方法

属性情報を削除せず、エクスポートされた状態のままにすることでこの現象は回避されます。また、パソコン決裁 6 サービスリリース 3 からこの現象は修正されています。

5.2 オートプロテクトワード捺印ツール

サポート番号 : SB1002253

印鑑データの過去の日付に設定してインプレット捺印操作をしても印影に編集した日付が反映されない現象

要約

[オートプロテクトワード捺印ツール] で [バックデート可] プロパティが設定された印鑑データを [環境設定] でインプレットの印面日付を過去の日付に設定しインプレットデバイスで捺印操作をした場合に、[環境設定] で設定した日付が印面に反映されない現象を修正しました。

内容

パソコン決裁の管理ツールで印鑑データのプロパティ内の [バックデート可] プロパティが有効に設定されている場合に、[オートプロテクトワード捺印ツール] の [環境設定] でインプレットの印面日付を過去の日付に設定しインプレットデバイスで捺印操作をした場合に編集した日付が実際に捺印される印影に反映されません。

回避方法

この現象の回避方法はありません。また、この現象はパソコン決裁 6 サービスリリース 3 で解決されています。

サポート番号 : SB1002261

Windows 認証で多重ログインしようとしたときのエラーメッセージ

要約

[捺印ツール] から Windows 認証でログインしている状態で [オートプロテクトワード捺印ツール] からも Windows 認証でログインしようとしたときに表示されるエラーメッセージを修正しました。

内容

[捺印ツール] から Windows 認証でログインしている状態で、[オートプロテクトワード捺印ツール] からも Windows 認証でログインしようすると 「パソコン決裁 捺印ツールでのログイン操作において、不具合が発生しました。旧バージョンのパソコン決裁ログイン機能を介して、なつ印操作を続けますか。」 というエラー表示され、このメッセージ画面で [はい] を選択すると [パソコン決裁 5] のログイン画面が表示されますが、Windows 認証でログインしようとしたユーザにパソコン決裁認証でログイン (パソコン決裁 5 では Windows 認証は利用できません) しようすると、「ユーザファイルのロックされている領域をロックしようしました。」 というメッセージが表示され、ログインできません。

パソコン決裁 6 サービスリリース 3 では、捺印ツールから Windows 認証でログインしている状態で、オートプロテクトツールからも Windows 認証でログインしようすると「ログインするユーザはほかのアプリケーションで利用中です。」 というメッセージを表示するように変更されました。

サポート番号 : SB1002262

オートプロテクトツールで捺印したときの捺印履歴に、文書ファイル名が記録されない現象

要約

電子印鑑の設定で [監査情報埋込] が無効な場合、捺印時に手動で [文書ファイル名] を設定しないと捺印履歴に [文書ファイル名] が記録されない現象を修正しました。

内容

電子印鑑の設定で [ログ収集あり] または [監査情報埋込] が有効な場合、捺印時に [オートプロテクトワード捺印ツール] が自動で [文書ファイル名] の既定値を設定するように変更されました。これにより、手動で [文書ファイル名] を設定しなかった場合も、捺印ログに文書ファイル名が記録されるようになります。なお、[オートプロテクトワード捺印ツール] が既定値を設定した [文書ファイル名] は、捺印時に [文書情報] 画面から手動で変更することができます。

サポート番号 : SB1002257

パソコン決裁 6 サービスリリース 3 オートプロテクトワード捺印ツールの、Word のバージョンによる動作の違いについて

要約

パソコン決裁 6 サービスリリース 3 の [オートプロテクトワード捺印ツール] は、Microsoft Word のバージョンが 2003 以前の場合と 2007 以降の場合で、若干動作が異なります。

内容

バージョンの違いによる動作の違いは、以下の通りです。

	Microsoft Word 2002/2003	Microsoft Word 2007/2010
捺印待機中のステータスバー	捺印ボタンクリックから捺印位置クリックまでの間で、キーを押したり [捺印準備] メッセージフォームが非表示になったりすると、捺印準備中であることを示すメッセージが消えます。	捺印ボタンクリックから捺印位置クリックまでの間は、常に捺印準備中であることを示すメッセージが表示されます。
[捺印準備] フォーム	フォームの [閉じる] または [×] ボタンを押すと消えます。また、表示開始から既定の時間 (約 3 秒) 経過すると自動的に消えます。 フォームが表示されている間は、捺印位置をクリックしても捺印処理は進みません。	フォーム上のどこをクリックしても消えます。また、表示開始から既定の時間 (約 3 秒) 経過すると自動的に消えます。 フォームが表示されている間に捺印位置をクリックした場合、フォームが消え捺印処理が進みます。
捺印位置指定中止	捺印ボタンクリックから捺印位置クリックまでの間で、 右クリックをすると捺印を中止できません。	捺印ボタンクリックから捺印位置クリックまでの間で、右クリックをすると捺印を中止できます。 また、ESC キーを押しても捺印を中止できます。
[環境設定] の [左利き設定で捺印する] 設定	左利き設定で捺印する (マウスの物理的な右ボタンで捺印する) 場合、Windows 側でマウスボタンの入れ替え設定を行い、さらにこの設定を有効にする必要があります。	この設定は無視されます。左利き設定で捺印する場合は、Windows 側でマウスボタンの入れ替え設定を行うだけで、マウスの物理的な右ボタンで捺印できます。
表の末尾への捺印	捺印できません。	捺印できます。ただし、印影のアンカーは表内のセルに設定されます。

サポート番号 : SB1002271

捺印ツールのログイン画面で表示される捺印用印鑑データファイルの場所に含まれる"\"マークが増えていく現象

要約

インストールされる共通モジュールのバージョンによって捺印操作を行う毎にパソコン決裁のログイン画面に表示される捺印用印鑑データファイルの場所を示すパスに含まれる"¥"記号マークが増えていく現象が修正されています。

内容

[パソコン決裁 6 捺印ツール Standard Edition] と [パソコン決裁 6 管理ツール Standard Edition (Advanced Edition)] を同じコンピュータにインストールしている場合に、インストールされるモジュールのバージョンによって捺印操作を行う毎にパソコン決裁のログイン画面に表示される捺印用印鑑データファイルの場所を示すパスに含まれる"¥"記号マークが増えていく場合があります。

再現手順

以下の手順で現象が再現されます。

1. [パソコン決裁 6 捺印ツール Standard Edition] (サービスリリース 1) をインストールします。
2. [パソコン決裁 6 管理ツール Standard Edition] (サービスリリース 2) をインストールします。
3. [パソコン決裁 6 捺印ツール Standard Edition] を起動し、捺印用印鑑データファイルの場所を指定します。
4. [パソコン決裁 6 捺印ツール Standard Edition] を終了します。
5. Microsoft Word を起動し [オートプロテクトワード捺印ツール] 捺印操作を行います。
6. 再度捺印操作を行い、[パソコン決裁 ログイン]画面を表示します。
7. [捺印用印鑑データファイルの場所] に表示されている文字のファイル名の直前の"¥"記号マークが重複して表示されます。
8. 以降、捺印操作を行うごとに"¥"記号マークの重複が増えていきます。

回避方法

本現象は、バージョンの異なるモジュールが混在することで発生します。[パソコン決裁 6 捺印ツール Standard Edition] と [パソコン決裁 6 管理ツール Standard Edition] のサービスリリースを同一にすることで回避することができます。

5.3 オートプロテクトエクセル捺印ツール

サポート番号 : SB1002253

印鑑データの過去の日付に設定してインプレット捺印操作をしても印影に編集した日付が反映されない現象

要約

[オートプロテクトエクセル捺印ツール] で [バックデート可] プロパティが設定された印鑑データを [環境設定] でインプレットの印面日付を過去の日付に設定しインプレットデバイスで捺印操作をした場合に、[環境設定] で設定した日付が印面に反映されない現象を修正しました。

内容

パソコン決裁の管理ツールで印鑑データのプロパティ内の [バックデート可] プロパティが有効に設定されている場合に、[オートプロテクトエクセル捺印ツール] の [環境設定] でインプレットの印面日付を過去の日付に設定しインプレットデバイスで捺印操作をした場合に編集した日付が実際に捺印される印影に反映されません。

回避方法

この現象の回避方法はありません。また、この現象はパソコン決裁 6 サービスリリース 3 で解決されています。

サポート番号 : SB1002261

Windows 認証で多重ログインしようとしたときのエラーメッセージ

要約

[捺印ツール] から Windows 認証でログインしている状態で [オートプロテクトワード捺印ツール] から Windows 認証でログインしようとしたときに表示されるエラーメッセージを修正しました。

内容

[捺印ツール] から Windows 認証でログインしている状態で、[オートプロテクトワード捺印ツール] から Windows 認証でログインしようすると「パソコン決裁 捺印ツールでのログイン操作において、不具合が発生しました。旧バージョンのパソコン決裁ログイン機能を介して、なつ印操作を続けますか。」というエラー表示され、このメッセージ画面で [はい] を選択するとパソコン決裁 5 のログイン画面が表示されますが、Windows 認証でログインしようとしたユーザにパソコン決裁認証でログイン（パソコン決裁 5 では Windows 認証は利用できません）しようすると、「ユーザファイルのロックされている領域をロックしようしました。」というメッセージが表示され、ログインできません。

パソコン決裁 6 のサービスリリース 3 では、捺印ツールから Windows 認証でログインしている状態で、オートプロテクトツールから Windows 認証でログインしようすると「ログインするユーザはほかのアプリケーションで利用中です。」というメッセージを表示するように変更されました。

サポート番号 : SB1002262

オートプロテクトツールで捺印したときの捺印履歴に、文書ファイル名が記録されない現象

要約

電子印鑑の設定で [監査情報埋込] が無効な場合、捺印時に手動で [文書ファイル名] を設定しないと捺印履歴に [文書ファイル名] が記録されない現象を修正しました。

内容

電子印鑑の設定で [ログ収集あり] または [監査情報埋込] が有効な場合、捺印時に [オートプロテクトワード捺印ツール] が自動で [文書ファイル名] の既定値を設定するように変更されました。これにより、手動で [文書ファイル名] を設定しなかった場合も、捺印ログに文書ファイル名が記録されるようになります。なお、[オートプロテクトワード捺印ツール] が既定値を設定した [文書ファイル名] は、捺印時に [文書情報] 画面から手動で変更することができます。

サポート番号 : SB1002240

Excel で「R1C1」参照形式のときに部分保護できない現象

要約

「R1C1」参照形式の場合に、シートの保護する範囲を選択後に[保護設定]画面で[OK]ボタンをクリックすると、「選択範囲が無効です」というエラーメッセージが表示され部分保護できない現象を修正しました。

内容

[パソコン決裁6 オートプロテクトエクセル捺印ツール Ver.6.02.01] では、「R1C1」参照形式の場合に、シートの保護する範囲を選択後に[保護設定]画面で[OK]ボタンをクリックすると、「選択範囲が無効です」というエラーメッセージが表示され部分保護できません。パソコン決裁6のサービスリリース3では「R1C1」参照形式の場合でも部分保護を設定できるように修正されました。

サポート番号 : SB1002271

捺印ツールのログイン画面で表示される捺印用印鑑データファイルの場所に含まれる"\"マークが増えていく現象

要約

インストールされる共通モジュールのバージョンによって捺印操作を行う毎にパソコン決裁のログイン画面に表示される捺印用印鑑データファイルの場所を示すパスに含まれる"¥"記号マークが増えていく現象が修正されています。

内容

[パソコン決裁 6 捺印ツール Standard Edition] と [パソコン決裁 6 管理ツール Standard Edition (Advanced Edition)] を同じコンピュータにインストールしている場合に、インストールされるモジュールのバージョンによって捺印操作を行う毎にパソコン決裁のログイン画面に表示される捺印用印鑑データファイルの場所を示すパスに含まれる"¥"記号マークが増えていく場合があります。

再現手順

以下の手順で現象が再現されます。

9. [パソコン決裁 6 捺印ツール Standard Edition] (サービスリリース 1) をインストールします。
10. [パソコン決裁 6 管理ツール Standard Edition] (サービスリリース 2) をインストールします。
11. [パソコン決裁 6 捺印ツール Standard Edition] を起動し、捺印用印鑑データファイルの場所を指定します。
12. [パソコン決裁 6 捺印ツール Standard Edition] を終了します。
13. Microsoft Excel を起動し [オートプロテクトエクセル捺印ツール] 捺印操作を行います。
14. 再度捺印操作を行い、[パソコン決裁 ログイン]画面を表示します。
15. [捺印用印鑑データファイルの場所] に表示されている文字のファイル名の直前の"¥"記号マークが重複して表示されます。
16. 以降、捺印操作を行うごとに"¥"記号マークの重複が増えていきます。

回避方法

本現象は、バージョンの異なるモジュールが混在することで発生します。[パソコン決裁 6 捺印ツール Standard Edition] と [パソコン決裁 6 管理ツール Standard Edition] のサービスリリースを同一にすることで回避することができます。

5.4 Acrobat 用 捺印ツール

サポート番号 : SB1002246

Acrobat 用捺印ツールの捺印プロパティ [文書ファイル名] に捺印時の文書ファイル名ではなく開いている文書ファイル名が表示される現象について

要約

PDF ファイルへの捺印操作で編集中の PDF ファイルに追加された印影の [捺印プロパティ] 画面の [文書ファイル名] に現在編集 (Acrobat で開いている文書ファイル名) が表示されます。

内容

パソコン決裁 6 Standard Edition 内の [Acrobat 用 捺印ツール] で PDF ファイルへの捺印操作で編集中の PDF ファイルに追加された印影をダブルクリックして表示される [捺印プロパティ] 画面の [文書ファイル名] に現在編集 (Acrobat で開いている文書ファイル名) が表示されます。

回避方法

この現象はパソコン決裁 6 サービスリリース 3 または更新プログラムでは修正されています。

注意事項

文書ファイル名の表示については捺印操作の際と捺印プロパティの表示する際に修正版の適用が必要になります。修正前のバージョンで捺印された PDF ファイル内の電子印影については捺印プロパティの表示において今回の修正は反映されませんのでご注意ください。

サポート番号 : SB1002252

印鑑データの過去の日付に設定してインプレット捺印するとエラーメッセージが表示される現象

要約

Acrobat 用 捺印ツールで [バックデート可] プロパティが設定された印鑑データを [環境設定] でインプレットの印面日付を過去の日付に設定しインプレットデバイスで捺印操作をした場合にエラーメッセージが表示され、捺印できない現象

内容

パソコン決裁の管理ツールで印鑑データのプロパティ内の [バックデート可] プロパティが有効に設定されている場合に Acrobat 用 捺印ツールの [環境設定] でインプレットの印面日付を過去の日付に設定しインプレットデバイスで捺印操作をした場合にエラーメッセージ [管理ツールでバックデート禁止設定がされているため設定した日付を反映することができません。] が表示され、捺印できません。

回避方法

この現象の回避方法はありません。また、この現象はパソコン決裁 6 サービスリリース 3 で解決されています。

サポート番号 : SB1002258

インプレット捺印すると捺印位置がずれる現象

要約

Acrobat 用 捺印ツールでインプレットによる捺印を行うと捺印位置がクリック位置から上部へずれてしまう現象

内容

インプレットデバイスを利用しマウスカーソルである印鑑イメージの先端を捺印位置としてクリックすると、クリック位置よりも上部に印影が捺印されます。

回避方法

この現象は、Acrobat 用 捺印ツールの [環境設定] - [捺印] にある [確定操作を行うまで印影を移動させるようにする] オプションを利用することにより、クリック位置に確定せず印影位置を調整することができます。また、この現象はパソコン決裁 6 サービスリリース 3 で解決されています。

サポート番号 : SB1002259

〔確定操作を行うまで印影を移動させるようにする〕オプションを利用せず署名捺印すると捺印位置がずれる現象

要約

Acrobat 用 捺印ツールでクリック位置に署名捺印を行うと捺印位置がクリック位置から上部へずれてしまう現象

内容

Acrobat 用 捺印ツールの〔環境設定〕－〔捺印〕にある〔確定操作を行うまで印影を移動させるようにする〕オプションをオフに設定して署名捺印を行うと、捺印操作時のマウスカーソルである印鑑イメージの先端を捺印位置として指定しクリックすると、クリック位置よりも上部に印影が捺印されません。

回避方法

この現象は、Acrobat 用 捺印ツールの〔環境設定〕－〔捺印〕にある〔確定操作を行うまで印影を移動させるようにする〕オプションを利用することにより、クリック位置に確定せず印影位置を調整することができます。また、この現象はパソコン決裁 6 サービスリリース 3 で解決されています。

パソコン決裁6 サービスリリース3

リリースノート

2010/08 作成

シヤチハタ株式会社 事業開発本部 BS開発部